

政策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策№	4-2	政策名	参画・協働のまちづくり	政策の 目指す姿	お互いを尊重し、持っている特性と能力を活かし合い、まちづくりを行っています	政策 主管課	地域づくり課	政策主管 課長名	菊池 司
	政策の方針	市民参画と協働のまちづくりを進めるためには、お互いを尊重し、持っている特性と能力を活かし合うための環境づくりが必要です。そのために、市民が積極的に市政に関わることができるよう市政への参画・協働機会を拡充するとともに、市民が行う公益的活動を支援します。また、男女が社会の対等なパートナーとしてまちづくり等に参画できるよう男女共同参画の浸透を図ります。								

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定計画 (どのように実績を把握するのか)	単位	区分	H27 (基準年度)	H29	H30	R1	R5
市民と行政の協働によるまちづくりが進められていると思う市民の割合	まちづくりが市民と行政との協働により行われているかどうかを測る指標として設定。	出典：花巻市(市民アンケート) 問：市民と行政の協働によるまちづくりが進められていると思いますか？ (1)そう思う (2)どちらかというと思う (3)そう思わない (4)どちらかというと思わない (5)わからないのうち(1)(2)と答えた市民の割合	%	目標値		35.0	40.0	42.0	50.0
				実績値	30.9	35.8	35.2	-	
達成度	[達成状況に関する背景・要因]								
C	平成29年度においては、実績値が目標値を上回っていたが、平成30年度においては、実績値が前年度程度ではあったものの、目標値の40%を上回ることはできなかった。市民参画と協働のまちづくりを進めるため、市政への参画や協働機会について、周知に努めているが、市民への浸透が進んでいないものと考えられる。【達成度c】								

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H27 (基準年度)	H29			H30			R1		前年実績との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値	見込み		
1	市政への参画・協働機会の拡充	市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合(%)	39.4	40.0	44.8	a	40.5	45.4	a	41.0		→	A
2	公益的活動への支援	この1年間にボランティア団体やNPO法人の活動に参加した市民の割合(%)	22.8	30.0	55.8	a	30.0	53.2	a	30.0		↘	A
3	男女共同参画の浸透	職場や学校、地域など身のまわりで男女の平等が図られていると感じる市民の割合(%)	43.5	50.0	46.1	b	50.0	41.7	c	50.0		↘	D
		審議会委員等に占める女性の割合(%)	31.2	35.0	28.1	c	35.0	28.8	c	35.0		↗	

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
C-③	市民と行政の協働によるまちづくりが進められていると思う市民の割合が目標値には達していない状況にあることから、協働によるまちづくりを進めるため、意識啓発に取り組んでいるものの、市民への浸透が進んでいないものと考えられる。施策1においては、市政への意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合が目標値を超えている状況から、市民に対し参画機会についての周知を図ってきた成果が表れていると考えられる。施策2においては、ボランティア活動や地域活動に参加している市民の割合は、目標値を超えている状況であり、市民のボランティアなどへの関心の高さが表れているものと考えられる。施策3においては、男女共同参画の推進に関して、市民に対する更なる意識啓発が重要であると考えられる。
やや遅れている	

成果指標達成度	A				
	B				
	C	☆			
	D				
		④	③	②	①
		政策に対する施策の達成度			

5 政策を構成する施策一覧

	施策名	施策の成果指標の達成状況	H29	A	H30	A
1	施策名 市政への参画・協働機会の拡充 [課題] ・市民参画に対する市民の関心をより高めるため、意識啓発を図る情報発信が必要である。 ・協働に対する市民の関心もまだ低いことから、引き続き市職員及び市民への考え方の浸透を図る意識啓発や活動参加を促す必要がある。 [今後の方向性] ・引き続き市民参画について市広報や市HP等で周知し、市民がより参画しやすくなるよう配慮する。 ・市民と市との協働については、市職員及び市民へ参画と協働の考え方の浸透を図るため、市HPでの情報発信を行い意識啓発を行う。					
2	施策名 公益的活動への支援 [課題] ・引き続き、市民の積極的な公益活動を支援することで、市民と市の協働の推進を図っていくことが必要である。 ・市民団体等の活動をさらに市民に周知していくことが必要である。 ・地域づくりを推進していくためにも、地域とボランティア団体やNPO法人等の中間支援組織との連携を進めていくことが必要である。 [今後の方向性] ・市民の積極的な公益活動の支援のため、市民団体等活動支援事業を引き続き実施し、市民団体等の活動の推進を図る。 ・市民団体等の活動の推進のためにも、その活動を市民に広く知ってもらえることから、活動紹介の強化を図る。 ・コミュニティ会議への中間支援組織等によるサポートを推進し、地域とボランティア団体やNPO法人等との連携を推し進める。		H29	A	H30	A
3	施策名 男女共同参画の浸透 [課題] ・市民向けの学習講座や講演会への関心を持ってもらうため、開催に関する工夫が必要である。 ・地域に密着した男女共同参画推進の要である推進員の人材育成が必要である。 ・LGBT(性的マイノリティ)の理解の促進が必要である。 ・審議会委員等に占める女性の割合が伸び悩んでいるため、対策が必要である。 [今後の方向性] ・研修や講演会は、より多くの市民に関心を持ってもらえるよう、講師の人選、開催日、時間など企画や周知の方法を工夫する。 ・地域の方に県の男女共同参画サポーター養成講座を積極的に受講してもらえるよう働きかけ、受講した方に推進員をお願いする。 ・LGBT(性的マイノリティ)の理解促進のための職員研修及び市民向けのセミナーを開催する。 ・「審議会等の設置及び運営に関するガイドライン」を庁内周知するとともに、女性が委員に推薦されやすい団体を構成団体とすることや、公募委員の募集を積極的に行うことなどを検討しながら、女性の登用に積極的に取り組んでいく。		H29	C	H30	D